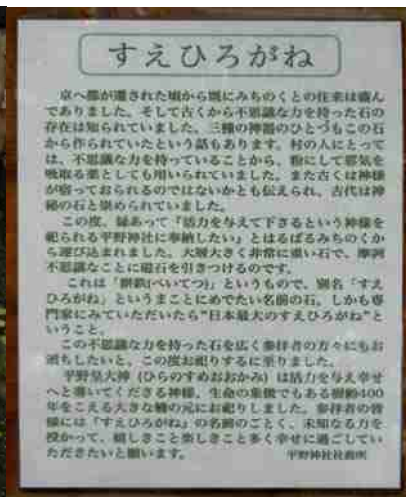


東北と関係深い清水寺にも久しぶりにゆきました 2011.5.22

東日本大震災・津波・原発事故 被災されたみなさまに 心からお見舞い申し上げます

困難な中で 互いに声かけあって 生き抜く力が与えられるよう

一日も早く 手が差し伸べられ立ち直られますよう お祈りしています



京都平野神社境内の御神木「大楠」の傍にある「すえひろがね」

夜 テレビを見ていたら 京都の北野の天神さんのすぐ北側 桜の名所平野神社の境内 御神木の楠の下に磁石が吸い付く不思議な石「すえひろがね」があり、「大楠に手を触れながら木の周りを一周し、その下にあるこの霊石に触れると新しいエネルギーが体内に入って来る」と若い人たちのパワースポットとして人気があるという。

そして、若い人が大楠の周囲をめぐり、お守り袋に入った磁石をこの不思議な石に吸い付けている姿が写真になりました。

学生時代 花見というと平野神社 何度も訪れたことがあるのですが、「そんな話 聞いたことなかったなあ 知らないなあ・・・」と。この磁石が吸い付く石は「天然の磁石石か？ それとも鉄鉱石?? 京都でも餅鉄がとれるのだろうか??」 京都の東山から比叡山にかけては 古代の鉄鉱石の産地。そこから奉納されたものだろうか…。磁石が引っ付く石がパワースポットとして京都の町の中にあることに興味を覚えました。



平野神社の霊石「すえひろがね」

東日本大地震と原発事故で頭がもやもやしていた時で、パワースポットにされるほど強い吸い付き力があるとすると かつて釜石でもらった「三陸の川筋で採取される餅鉄??」が頭にうかんできました。

そして、長いこと東北蝦夷の族長 アテルイの顕彰碑のある「清水寺」などが かつて東北の鉄を訪ねて歩いた街々とともに

頭に浮かびました。5月22日 京都に行く機会があるので、「平野神社へこの不思議な石の奉納元を確かめに立ち寄って 前々から頭にあった清水寺にも行って 東日本大地震で大きな被害を受けた東北復興の祈願をしよう」と。

5月22日午後 北野天満宮を抜けて北門から西へ数分。 御土居に沿う天神川を渡るとすぐ、平野神社の赤い鳥居。

この鳥居から石畳の参道が中門を潜り抜け、境内に入る。

かつて境内地は1.5km四方と広大で、ほぼ京都御苑と同じ広さであったというが、現在は200m弱四方であるが、そこに、染井吉野や枝垂桜をはじめ珍種を含め約50種・約500本が植栽されている。

花見の頃は 鳥居をくぐると一面ピンクなのですが、今は緑に包まれている。 平野神社の神紋も桜である。

最近はどうなのかよく知りませんが、かつては数多くの屋台が立ち並び、桜の下でぎっしり宴が繰り広げられる京都一の夜桜見物の名所だった。

境内に入ると広い境内の正面に舞殿が見え、その奥に社殿は春日造りを二殿連結した「平野造」（比翼春日造）とよばれる国の重要文化財の社殿がある。舞殿の南側手前の参道横にしめ縄が張られた御神木樹齢約400年楠の古木が青々と葉を茂らせ立っているのが見え、その前にもしめ縄を張った自然石が祀られている。そこに数人 人が見える。

楠に手を置きながらじっと黙想している人も見える。 ここが最近若い人が数多く訪れる平野神社のパワースポットと直ぐ判った。



舞殿の手前横の参道脇に霊石「すえひろがね」 奥に社殿が見える 2011.5.22.

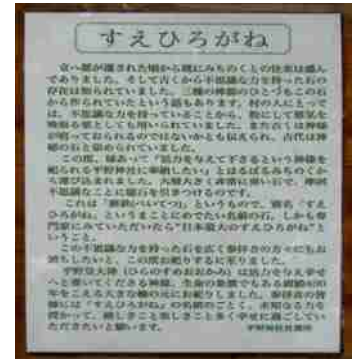
平野神社の新しいパワースポット

大楠や舞殿があったのは覚えています、こんな風になっているのは全く知らず。

しめ縄が張られ、数個磁石が吸い付けられている霊石の前にこの霊石の由来が書いてあり、名前が「すえひろがね」・「餅鉄」と知れる。

また、社務所で教えてもらったのですが、数年前に東北から奉納されたものを祀ったものと知れる。





かつて たたら製鉄原料としての「餅鉄」を探しに東北・釜石へ出かけ、もらって帰ったことがある。

餅鉄というと川に落ちた磁鉄鉱石が流れの中で丸く削られ、みんなきめの細かいつるつるの肌をしていると思っていましたが、こんな大きな自然石に近いものもあるのだと知りました。

和鉄の道 田舎なれども南部の国は 西も東も金の山

3. 釜石 鉄の歴史館に「餅鉄」を訪ねて 岩手県・南部 蝦夷の鉄 北上山系 大槌・釜石

<http://buffalonas.com/mutsu/www/dock/iron/kmaisai.pdf>

また、私の好きな東北と京都の清水寺が関係深いと思ってきましたが、平野神社にも東北と関係深い「餅鉄」が祀られている。

東日本大地震の東北をぼんやりと平野神社のパワースポットと重ねて 出かけてきましたが、その結びつきにもビックリ。

霊石に吸いつけられていた磁石をつかんで離れさそうと引くのですが、本当に強く吸い付いていて、磁石石の自然石よりこの霊石の鉄分が多いことがわかる。

東北の復興を願って 私の持っている磁石をこの霊石に引っ付けてきました。近づけるとピタッとは吸いつけられました。



【 参考 】

1. 「餅鉄」の解説 和鉄の道より

2. 清水寺と古代東北とのつながり 和鉄の道より



京都 平野神社にある霊石「すえひろがね」
磁鉄鉱石・餅鉄 2011.5.21.

【参考 1. 餅鉄 和鉄の道より 】



釜石後背の北上山系の川から採取された餅鉄

釜石市 鉄の歴史館で 2002. 9. 23.

山中に鉄鉱石（磁鉄鉱）鉱脈として眠っていた鉄鉱石が川に流され、流れ下る過程で磨かれ丸くなったもの。従って 鉄鉱石（磁鉄鉱）の鉱脈がある山から流れ下る川流域で産出される。

鉄分は 70%を超え、非常に純度が高い。ほかの鉄鉱石

と比べ炭素量の高いのも特徴。「餅鉄」の名称は製錬した鉄の性質が粘性に富むことに由来し、形状から来たものではない。

餅鉄(米鉄)

餅鉄

橋野、栗林の川で採取したもの。
餅鉄の名称は製錬した鉄の性質が
粘性に富むことから由来し、形状
からきたものではない。

分析表

Fe	C	Si	Mn	P	Cu	Ti	S
%	%	%	%	%	%	ppm	%
99.54	4.45	0.41	0.03	0.01	0.13	0.004	0.001



【釜石後背の北上山地と餅鉄が出る川】

【餅鉄の出る甲子川 北上山地から流れ出て釜石を流れ下る】

釜石の後背地の北上山系には大規模な磁鉄鉱の鉄鉱脈があり、ここから流れ下る甲子川や鶴住居川・小鮎川などの域で産出される。東北では北上川や秋田県米代川流域などでも産出すると聞きましたが、資源が偏するののもこれで理解。70%を超える鉄分と高純度は砂鉄では得られぬものであり、砂鉄による「たたら製鉄」に替わる近代洋式高炉が最初に釜石周辺の北上山中に建設された（陸中大橋大橋高炉）のも、後背の山中で鉄鉱脈が発見された事と共に、古くからこの餅鉄が製鉄原料として使われてきた歴史があったためであろう。



蝦夷の藤手刀の分布

畿内政権と戦った蝦夷国アテルイの武器
藤手刀の分布

【参考2. 清水寺と古代東北とのつながり 和鉄の道より】

北上市の市民憲章には

「あの高嶺 鬼住む誇り その瀬音 久遠の賛歌

この大地 燃えたついのち ここは北上 」と誇らしく歌う。

東北人の心情として感激し、私の頭に強く残っている言葉です。

この鬼とは古代日高見(北上)川沿いのこの地にすんだ自分たちの祖先
蝦夷の族長 日高見の鬼「アテルイ」とその一族 蝦夷をさす。



今から約 1200 年前 奈良時代の末から平安時代の初期にかけて 坂上田村麻呂を征夷大將軍とした蝦夷征伐があった。この蝦夷征伐のもう一つの側面は今まで輸入に頼っていた「金や鉄(くろがね)」がこの蝦夷の支配地に出たことによる鉱物資源の支配。坂上田村麻呂が出るまで、和朝廷が苦しめられ続けた蝦夷の族長が「アテルイ」
蝦夷の心情に共感しつつも戦わねばならなかった征夷大將軍坂上田村麻呂
長年にわたる戦争の中で、アテルイは蝦夷の和平を願い、盟友モレと約 500 人の兵と共に田村麻呂に降伏。
坂上田村麻呂の「蝦夷支配に活用できる人材」との助命嘆願もむなしく、アテルイは河内国で斬首されたという。
この坂上田村麻呂が建立したのが、京都 清水寺。そして清水寺の境内 清水の舞台のすぐ下に
この田村麻呂とアテルイ・モレの心の交流を顕彰するアテルイ・モレの顕彰碑がある。

和鉄の道「蝦夷の鉄」 東北地方 和鉄の道 9 編 取りまとめ 2004.1

1. 岩手県の人達が作った長編アニメ映画「アテルイ」に今の時代を重ねて 和鉄の道Ⅲ 15.
2. 7 世紀 畿内王権の蝦夷征伐の兵器庫 「行方製鉄遺跡」を訪ねる 和鉄の道Ⅰ 4.
3. 岩手県北上川流域の和鉄 一関博物館へ 和鉄の道Ⅱ 8.
蝦夷の主要武器「薙手刀」・日本刀のルーツ「舞草刀」を訪ねて
4. 心残りだった東北 和鉄のふるさと walk 北上江釣子・砂鉄川・蔵王 和鉄の道Ⅲ 8.
「あの高嶺 鬼住む誇り・・・ 北上市市民憲章 」と歌う
5. 『田舎なれども南部の国は 西も東も金の山』 和鉄の道Ⅲ 2.
岩手県・南部「蝦夷の鉄」 北上山 系大槌・釜石へ
6. 古代 出羽国 秋田 和鉄の道を訪ねて 奥羽山脈越えの和鉄の道は蝦夷の生命線 和鉄の道Ⅲ 5.
北上川流域の陸奥から奥羽山脈越 出羽・秋田そして津軽十三湊へ
7. 奥州 蝦夷の心臓部を貫く和鉄の道-北上(和賀) 仙人峠越- 和鉄の道Ⅲ 6.
東北 鉄の山 気にかかっていた「和鉄のさと」を歩いてー
8. 「弘前ねぶた」と岩木山北山麓「鬼伝説の里」 和鉄の道Ⅰ 8.
「鬼沢・鬼神社」・「十腰内・厳鬼神社」
9. 岩木山北山麓の製鉄遺跡群と鬼伝説 和鉄の道Ⅰ 6.



京都 清水寺にある蝦夷の族長「アテルイ」の顕彰碑 2011.5.22.

【 清水寺 東北エミシの族長アテルイの顕彰碑に詣でる 2011.5.22 】

平野神社の境内から 西大路道理に出て、市バスに乗って清水寺へ。 東北の復興を祈願してこよう。

清水寺は蝦夷征伐の征夷大將軍 坂上田村麻呂が建立した寺で、清水の舞台のすぐ下の境内に東北蝦夷の族長アテルイ・モシの顕彰碑がある。

征夷大將軍として東北の蝦夷と戦火を交えた坂上田村麻呂は蝦夷の族長アテルイと副将モシこそ東北経営に最も力を発揮してくれると信じ、ふたりの助命を嘆願する。しかし、願いは聞き入れられず、二人は河内で斬首された。

共に平和を希求し、人々の血を流すことを避けようとした坂上田村麻呂とアテルイとモシ。

この精神は、現代の東北の人々にもしっかりと受けつがれているといわれる。

東北人はこの二人に強く心を惹かれ、北上市の市民憲章には

「 あの高嶺 鬼住む誇り その瀬音 久遠の賛歌

この大地 燃えたついのち ここは北上 」と誇らしく歌う。



蝦夷征伐の征夷大將軍 坂上田村麻呂が建立した清水寺と境内にある蝦夷の族長アテルイ・モシの顕彰碑 2011.5.22.



八坂の塔



清水寺仁王門前 清水坂 2011.5.22.



清水坂から清水寺の山門前は日曜日と修学旅行シーズンが重なって、ぎっしりと人の波。

やっぱり 京都一番の名所。

でも、この寺が坂上の田村麻呂ゆかりの寺で、境内に蝦夷の族長アテルイの顕彰碑があることを知っている人は少ない・

さすがに 東北と関係深い清水寺 清水の舞台の上 本堂の中央 御本尊の正面に大きく大書された募金箱が設置され、多くの場所で募金が呼びかけられていました。

私も 東日本大震災に被災した東北の復興を祈願してきました。

清水の本堂を抜けてたところから、石段を下りて 舞台の下にまわった崖の縁の広場にアテルイ・モレの顕彰碑がある。ここへ来るのは数年ぶり。多くの人が、顕彰碑の傍を通り過ぎて行く中、何人かが足を止め、碑文を熱心に読んでゆく。ここだけは喧騒から逃れた静かな場所 新緑の中 碑文の横の崖の所に置かれたベンチに座ったり 谷をのぞきこんだり 東北を想う。



清水寺の境内にある 蝦夷の族長アテルイ・副将モレの顕彰碑 2011. 50. 22.

しばらく 碑の傍で 新緑を楽しんだ後、東山の山裾を久しぶりに清閑寺まで足を延ばし、帰ってきました。

京都を歩いた一日

今日は「私の東北の日」でした。

2011. 5. 22. タ 東山大谷の墓所の中を下りながら



Mutsu Nakanishi